仕　様　書

CSA-522B
仕様書 No.351522B-C　　1/4

トランスミッタ

1．概要

本器は、ひずみゲージ式変換器用トランスミッタです。

2．仕様

- ブリッジ電源　DC10 V±0.3 V　120 mA 以内（DC2.5 V、DC5 V 切換可）
- 適用変換器　ひずみゲージ式変換器 60 Ω to 2 kΩ
- 入力範囲　0.35 mV/V to 3.5 mV/V
- 出力　±10 V、±20mA 出力（非アイソレーション）
- 出力負荷抵抗　500 Ω以上
- 感度調整範囲　L：1 000 倍、M：2 000 倍、H：3 000 倍
  各設定に対して 1/1 to 1/4 を調整
- 零点調整範囲　±0.6 mV/V
- 非直線性　0.005 %F.S.
- 温度による影響
  - 零点　±0.2 μV/℃（入力換算）
  - 感度　±0.005 %F.S./℃
- CALIB　0.25 mV/V±0.000 25 mV/V 、1 mV/V±0.001 mV/V
- 周波数応答範囲　1 Hz 又は 30 Hz（-12 dB/oct　ベッセル型）、25 kHz（-3 dB）
  （1 Hz と 30 Hz は基板上ディップスイッチで何れか一つを選択）
- 電流出力　DC4 mA to 20 mA 出力（非アイソレーション、電圧出力 DC0 V to 10 V 時）
  - 負荷抵抗　510 Ω以下
  - 非直線性　0.05 %F.S.
  - 温度による影響
    - 零点　±0.01 %F.S./℃以内
    - 感度　±0.01 %F.S./℃以内

3．一般仕様

- 使用温度湿度範囲
  - 温度　－10 ℃ to 50 ℃
  - 湿度　85 %RH 以下（結露なきこと）
- 電源
  - 電源電圧　AC100 V（許容可変範囲 AC90 V to AC110 V）
  - 電源周波数　50/60 Hz
  - 消費電力　約 15 VA
- 絶縁抵抗　電源ラインとケース間　DC500 V　100 MΩ以上
- 耐電圧　電源ラインとケース間　AC1 500 V　1 min 間
- 外形寸法（W×H×D）　49.5 mm×138 mm×173.6 mm（突起部含まず）
- 質量　約 1.2 kg

4．付属品

- 取扱説明書　1冊
- タイムラグヒューズ（1A）　1個
- マイナスドライバ　1本

5．別売品

5-1．オートゼロ

- 型式　CSA522B-P99
- オートゼロ入力範囲　±2.4 mV/V以内
- オートゼロ範囲　±10 V以内
- オートゼロ所要時間　約1 s以内
- オートゼロ精度　±5 mV以内
- バックアップ時間　約10年（リチウム電池使用）
- 温度による影響
  - 零点　±0.005 %F.S./℃以内
  - 感度　±0.005 %F.S./℃以内

5-2．電源電圧

- 型式　CSA522B-P61
  - 電源電圧　AC110 V（許容可変範囲AC99 V to AC127 V）
  - 電源周波数　50/60 Hz
  - 消費電力　約15 VA
- 型式　CSA522B-P63
  - 電源電圧　AC200 V（許容可変範囲AC180 V to AC220 V）
  - 電源周波数　50/60 Hz
  - 消費電力　約15 VA
- 型式　CSA522-P64
  - 電源電圧　AC220 V（許容可変範囲AC198 V to AC254 V）
  - 電源周波数　50/60 Hz
  - 消費電力　約15 VA

Minebea

仕　様　書

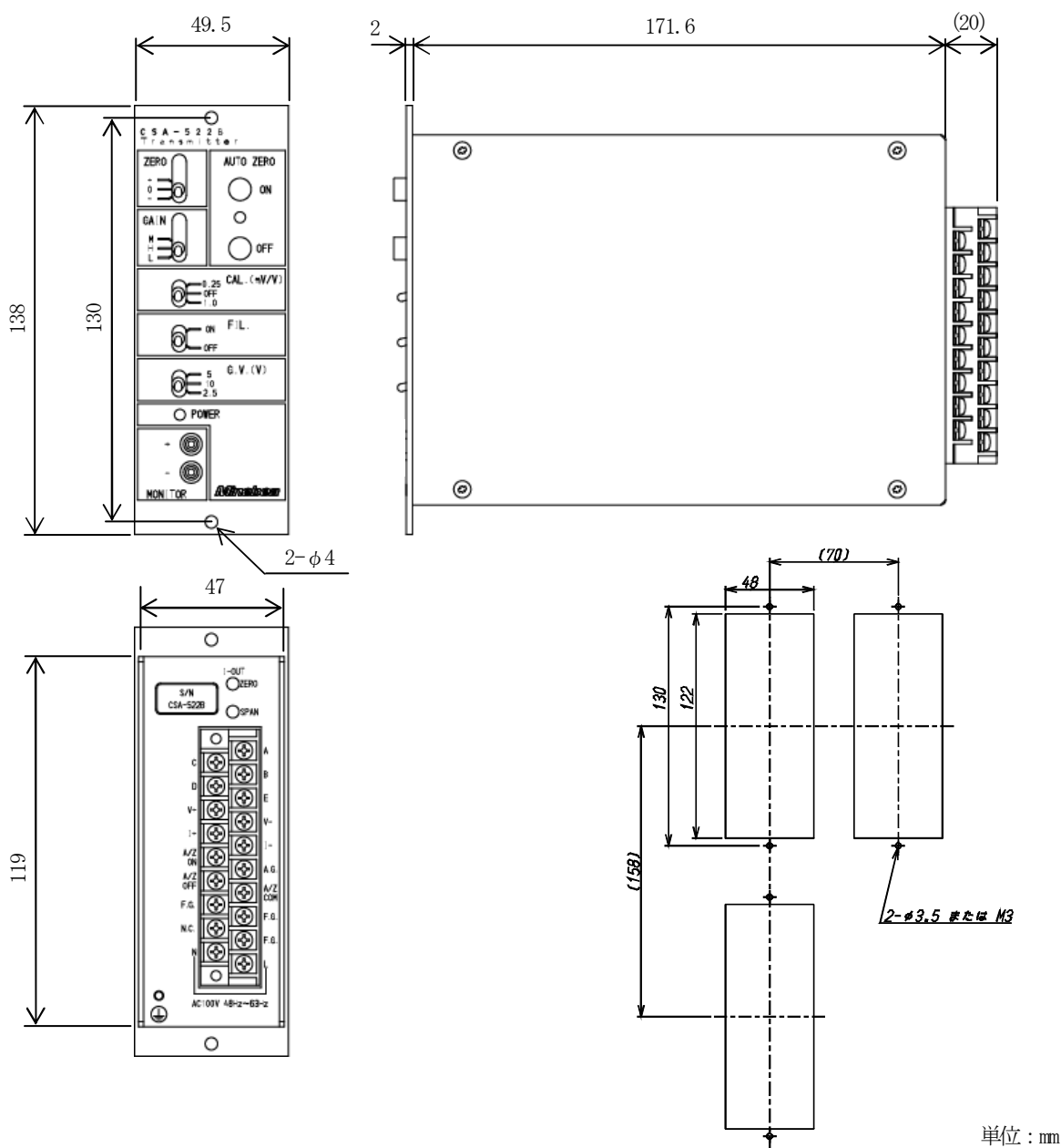
トランスミッタ

6．標準出荷仕様

- ブリッジ電源　　DC10 V
- 感度　　1000倍（1.0 mV/V 入力にて DC10 V 出力）
- 周波数応答範囲　　30 Hz（-12 dB/oct　ベッセル型）、25 kHz（-3 dB）

7．外形図

単位：mm

仕　様　書

トランスミッタ

8.　CE 適合規格

- 本器は次の規格に適合しています。

  EN61326-1：2006

  「計測、制御および試験所用の電気機器ーEMC要求事項」

  「工業立地での使用が意図された機器のイミュニティ試験要求事項」

  EN61010-1：2001

  「計測、制御および試験所用電気機器の安全要求事項」

  この規格に適合させる為の本器使用条件は以下の通りです。

8−1.設置場所

- 本器はEMC 対策の施されたシールドケースか制御盤の中に設置してください。

8−2．配線

① シールド処理

全ての信号線はシールドケーブルまたはコンジット配管により、収納ケースや制御盤を含め、シールド処理を確実に行ってください。

電源線はコンジット配管により、収納ケースや制御盤を含め、シールド処理を確実に行ってください。

② 接地

本器の接地は保護接地端子を用いて、EMC対策の施されたケースや制御盤を通して確実に接地して下さい。

※記載されている仕様、外観等は改良の為予告なく変更する場合があります。